

飲めない教授

「そ」が問題。だから私もとまどいましてね。でも、アソコはオレンシジュースも売ってるとんだから、まあいいや」と

つまり、この人が書いた『北京烈烈』（筑摩書房刊）が、このサントリ学芸賞（副賞百万円）をうけるのが、ご当人、ちっともお酒が飲めないのである。

「中国やソ連、仕事の関係でよく行くのですが、酒が飲めずに困っています。体質的にうけつけられないので」

先輩、同輩から、酒の飲めないヤツは、それだけ人生の愉しみが少ない、とひやかされる。

「たしかにそうだろうけど、夜のつきあいがなければ、それだけ本も読める。昨夜も、こゝで夜中までモノを書いてました」

東京外国語大学の研究室。M8級の地震でもあれば、本の下敷きになって死んでしまいうるこの部屋に、女性が一人語っている。

なにしろ売れっ子の先生だから、受話器にお辞儀して、先生不在、先生多忙のおわびをするのがおこな仕事にみえる。

中国に酔って



サントリ学芸賞の

中嶋 嶺雄

なかにま・みねお 昭和11年、松本市生まれ。東京外国語大学教授、社会学博士。アジアを中心とする国際関係論、現代中国学専攻。

著書は受賞作のほかに『現代中国論』『中ソ対立と現代』など。終始、文革批判の論陣をはってきただが、中国入りを拒否されたことなど、氏の論文は、文革中の中国でもひそかに読まれ、学者たちを勇気づけていたという。

趣味はバイオリン。鈴木メソッドで知られる鈴木鎮一教室の第一期生。家庭は夫人と二男二女。故郷・松本が好きで、二人の娘さんの名が科野（しな）の、亜純（あすみ）。

◇ サントリ学芸賞は「日、東京会館で授賞式。受賞者はほかに芳賀徹、堀野七生とら九氏。

ハメ モ V

文革烈烈批判から

酒・料理にもウンチク

北京烈烈のときには、必ずこの人の解説を新聞で見る。だが、そのウンチクは、中国の酒から料理にまでおよぶ。

「世にも不思議なこと。フランス料理は、日本でも本場に近いものが食べられるのに、中華料理のホンモノは、絶望的に日本では食

べられない。最近、猪木正道先生が中国に行かれるので、いい店を推薦したものです」

北京ダックでも、ホンモノは、客の注文を前日から聞き、ナツメの木で炭で焼きあげるのだとか。同じ北京では、沙鍋居（シャークウ）という店の砂鍋（砂

で焼いた鍋で食べる寄せ鍋）がうまいのだとか。羊の肉のシャブシヤもお奨め品。山西省ではぐくに麵類がうまい。

忘年会は中国という食道楽も現れそうだが、北京でも観光客がふえて最近、味はガタ落ちの傾向がみえる。

東大の大学院を出たのが16年前、ちょうどこのころから中国であの文革。紅衛兵の前で趣味のバイオリンを弾いてカッサイ浴びたこともある。肌身で接した文革研究が『北京烈烈』に結晶した。といっても、いまさら文革談議でもあるまい。お酒の話を続けよう。

倭国の列島は忘年会のシーズンでもある。

忘年会帰りの酔っ払い。ああいうのは中国ではみかけないそうである。漢い昔の李白はさておき、前世紀から中国は動乱続きとなり、他人と大酒飲んで、心を許す雰囲気は絶えてなくなったという

のが先生の解釈。

「周恩来にしても、あれだけ宴会やって開けたという話を聞いたことない。私が、この目で見たわけじゃないけど、宴なかなはで、流しこんだマオタイを戻す術を知っているのですよ。中国人は酔って泥酔しません」

口にくめば燃える感じの、あの強いマオタイ酒。酔うためというより、アレには、つき出てる料理のための口すきの効用がある。下戸の先生のマオタイ論である。

中華料理屋で忘年会とすれば紹興酒。だが、砂糖を洗って飲む

あのやり方は、邪道だと先生はきめつける。ホンモノは砂糖なしで、まあ、重厚。

「あのアヌ色の酒は、魯菜（『阿Q正伝』で知られる中国文学者、1936年没）の生地、浙江省紹興で醸造されるので紹興酒といひます。紹興では、女の子が生まれるとカヌにこれをつけて土にいける。娘が結婚するときにカヌの封を切る」

昔の中国、いくら早婚といっても、十数年は寝かしなうで飲むことになる。まさにオールドであり、アヌ色になる。ツンと鼻にこ



いま北京では第五期全人代の会議がひらかれ、大陸の苦悩が報告されている。

目の前に82年。最後に来年の中国最大の課題をきくと、「農業問題でしょうね」。

農民が人民公社幹部の言うことを聞かなくなってきた。農業近代化といっても省力、機械化農業の導入では、人の多すぎるこの国の農業問題は解決しない。

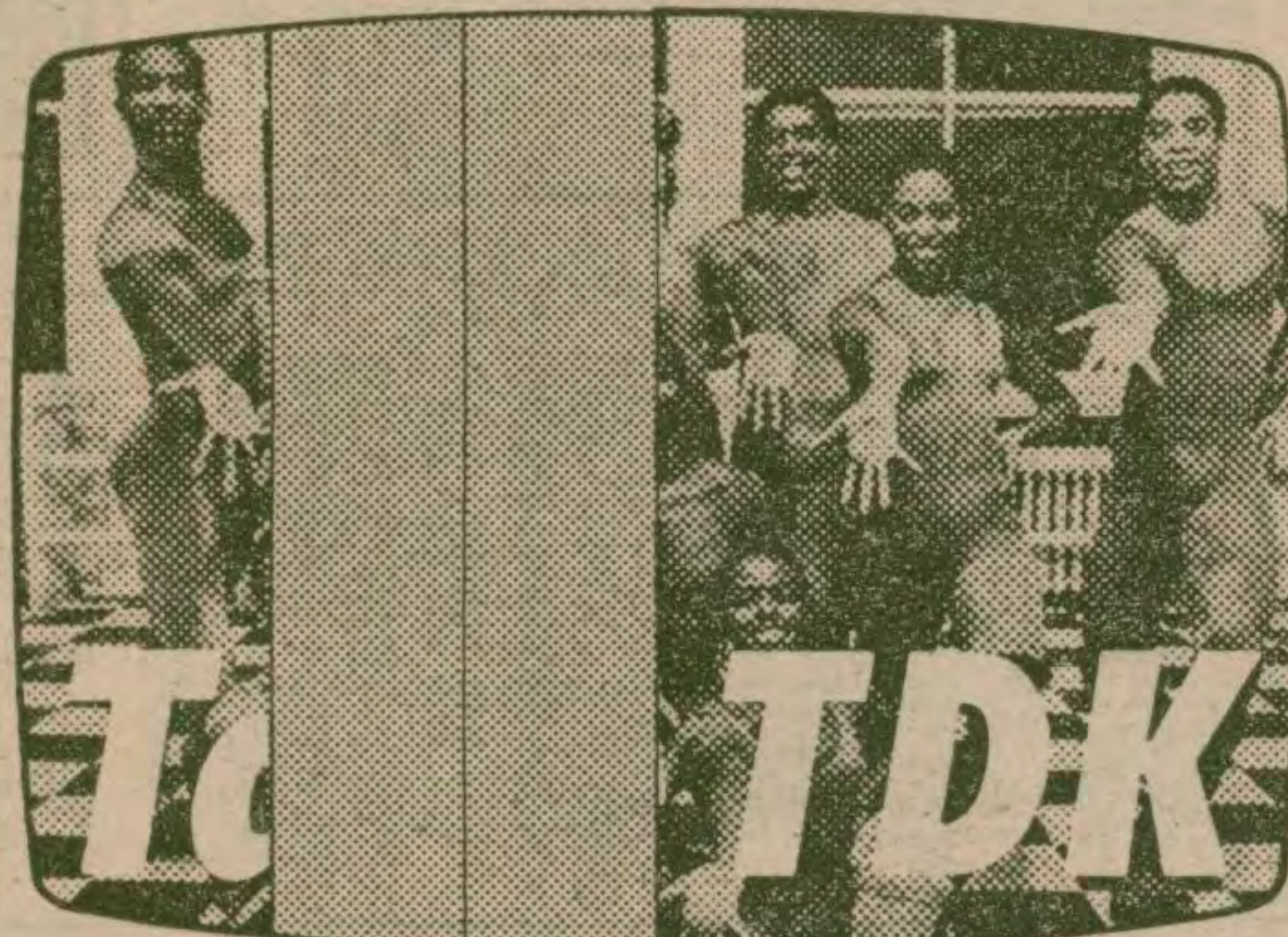
「中国の農村は、自然宗教に発する道教に、長年支配されてきた社会、そこに人民公社でしょ。土着のよこびの根源を奪ってしまった」

あの広い大陸の農村で、今は、おじいちゃんが死んでも、村人は近くの畑にお墓ひとつ作れないのだそうである。

（文・中川 朗
カメラ・佐藤 孝弘）

★★毎週毎週10名にビデオテープが当たる!!★★ TDKビデオクイズ

キャンペーン・スローガンは何でしょう。
(月曜日から土曜日で完成します)



TVコマーシャルを見てお答えください。

答は、官製ハガキに英文字で○○○○ ○○○と書き、あなたの氏名、年齢、住所、郵便番号、希望のテープ（VHS用又はベータ用）を明記の上、〒100東京都千代田区丸の内2-6-2丸の内八重洲ビル 東京電気化学工業㈱丸の内分室 夕刊フジTDKビデオクイズ係へ。必切は毎週土曜日消印有効。先週の答はサル。

●正解者多数の場合抽選、当選発表は賞品（L-250・T-60）の発送をもってかえす。

●製品の問合せは、TDKサービスステーションへ東京☎(03)278-5151・大阪☎(06)245-7351/東京電気化学工業株式会社 東京都中央区日本橋1-13-1〒103

スーパービリン・ビデオカセット TDK



※あなたがビデオテープでテレビ放送などから録画したものは、個人として楽しむもの以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。